

器台と壺形土器 弥生時代(約1800年前)

薩摩川内市・川骨(かわぼね)遺跡

(随時掲載)



器台(きだい)は丸底の壺(つぼ)形土器などを安定して支える台のことですが、めったに出土しません。祭祀(さいし)の場など特別な場合に使われていました。(県立埋蔵文化財センター)